

令和2年度横浜市桂台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —																			
◆ 事業計画																			
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性																			
<p>担当エリアである本郷中央地区、上郷西地区共に横浜市そして栄区の中でも高齢化率が高い地域であり、単一自治会によっては45パーセントを超えている。一方、住民主体の地域活動は活発であり、地域の中での仲間づくりも進んでいる。しかしながら、40代、50代の地域活動の担い手が減っており、今後の課題として活動の継続や新たな地域活動の芽が少ないことが挙げられている。若年層に対し保健福祉活動への関心を高めるような働きかけの必要がある。また、平成26年度から地域ケア会議、平成28年度から生活支援体制整備事業が開始されたことによって、地域の方を含めて個別ケースから抽出された課題を考え、協議体によって課題解決の社会資源を行う実践部隊を組織化することができている。小さな取り組みではあるが、継続していきたい。</p> <p>その他、認知症の方に対する理解の促進については、高齢化率が上がり、他人ごとではなく自分事として捉える住民が増え活動が広がっている。今年度は、これまでの取り組みを基礎にして、担当エリア両地区合同の研修会を実施する予定があり、その研修会においても介護者として関わる可能性の高い若年層の住民へのアプローチを重点的に行い、今後の地域活動につながるよう働きかけを行う。さらに、新しい取り組みとしては、「8050問題」として顕在化してきた引きこもりの方への支援、60代へのアプローチとしてのセカンドライフ支援として、有償の地域貢献活動へのコーディネートを進めていく。</p> <p>ここ数年、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「受け手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることが必要とされていると言われるが、担当地域では、これまで様々な活動が生まれ、地域住民のつながりが強い。住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会を目標に置いて事業を進めていく。</p>																			
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>— 具体的な取組内容 —</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> 1.地域保健福祉活動および地域ケアプラザの活用に関する情報の周知 保健福祉活動に関する情報を、広報紙や各種会議等の参加場面で、地域住民に伝達する。また、地域ケアプラザの活用についても同様に行う。主に活動者が少ない40代、50代の方にアプローチする。 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> 2.地域課題へのアプローチと地域ニーズに即した社会資源の開発 総合相談等の個別ケア、民生委員や専門機関との連携会議および各地域保健福祉計画推進団体等のネットワーク会議から抽出された地域課題について、地域ケア会議等で話し合い協議体を経て社会資源の開発につなげている。今年度も適切な課題を設定し新たな取り組みの実践を行う。 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> 3.認知症予防および認知症の方、認知症の家族を介護する家族への支援 認知症の方の啓発、理解促進のための認知症サポーター養成講座、認知症予防としての3A・スマイルの会、認知症の方の家族支援としてのN・Fの会、認知症の方とその家族、地域の方の交流の場所である認知症カフェとしての桂台カフェ、笑風の会(若年性認知症)に加え、前年度は認知症初期支援チームに参加した。継続して認知症に関する支援活動を行う。 </td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td> 4.若年層の引きこもり者への支援 ここ1,2年で8050問題と言われる40代から50代の引きこもりの人への支援が課題が顕在化しているが、当地域にも同じような状況がある。以前引きこもりだった経験者が立ち上げるサロンおよびカフェを支援し、課題にアプローチするきっかけづくりを行う。 </td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td> 5.シニア層のセカンドライフへの支援 地域活動の担い手の発掘については、当地域でも同じように大きな課題である。ボランティア活動も以前のような無償ボランティアでは活動を立ち上げたり、継続したりすることも難しくなっている。地域ニーズと活動をマッチさせ、60代の方が地域活動に入りやすい有償ボランティア活動について検討し、提案していく。 </td> </tr> </tbody> </table>	新規	継続	— 具体的な取組内容 —	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1.地域保健福祉活動および地域ケアプラザの活用に関する情報の周知 保健福祉活動に関する情報を、広報紙や各種会議等の参加場面で、地域住民に伝達する。また、地域ケアプラザの活用についても同様に行う。主に活動者が少ない40代、50代の方にアプローチする。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2.地域課題へのアプローチと地域ニーズに即した社会資源の開発 総合相談等の個別ケア、民生委員や専門機関との連携会議および各地域保健福祉計画推進団体等のネットワーク会議から抽出された地域課題について、地域ケア会議等で話し合い協議体を経て社会資源の開発につなげている。今年度も適切な課題を設定し新たな取り組みの実践を行う。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3.認知症予防および認知症の方、認知症の家族を介護する家族への支援 認知症の方の啓発、理解促進のための認知症サポーター養成講座、認知症予防としての3A・スマイルの会、認知症の方の家族支援としてのN・Fの会、認知症の方とその家族、地域の方の交流の場所である認知症カフェとしての桂台カフェ、笑風の会(若年性認知症)に加え、前年度は認知症初期支援チームに参加した。継続して認知症に関する支援活動を行う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4.若年層の引きこもり者への支援 ここ1,2年で8050問題と言われる40代から50代の引きこもりの人への支援が課題が顕在化しているが、当地域にも同じような状況がある。以前引きこもりだった経験者が立ち上げるサロンおよびカフェを支援し、課題にアプローチするきっかけづくりを行う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5.シニア層のセカンドライフへの支援 地域活動の担い手の発掘については、当地域でも同じように大きな課題である。ボランティア活動も以前のような無償ボランティアでは活動を立ち上げたり、継続したりすることも難しくなっている。地域ニーズと活動をマッチさせ、60代の方が地域活動に入りやすい有償ボランティア活動について検討し、提案していく。
新規	継続	— 具体的な取組内容 —																	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1.地域保健福祉活動および地域ケアプラザの活用に関する情報の周知 保健福祉活動に関する情報を、広報紙や各種会議等の参加場面で、地域住民に伝達する。また、地域ケアプラザの活用についても同様に行う。主に活動者が少ない40代、50代の方にアプローチする。																	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2.地域課題へのアプローチと地域ニーズに即した社会資源の開発 総合相談等の個別ケア、民生委員や専門機関との連携会議および各地域保健福祉計画推進団体等のネットワーク会議から抽出された地域課題について、地域ケア会議等で話し合い協議体を経て社会資源の開発につなげている。今年度も適切な課題を設定し新たな取り組みの実践を行う。																	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3.認知症予防および認知症の方、認知症の家族を介護する家族への支援 認知症の方の啓発、理解促進のための認知症サポーター養成講座、認知症予防としての3A・スマイルの会、認知症の方の家族支援としてのN・Fの会、認知症の方とその家族、地域の方の交流の場所である認知症カフェとしての桂台カフェ、笑風の会(若年性認知症)に加え、前年度は認知症初期支援チームに参加した。継続して認知症に関する支援活動を行う。																	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4.若年層の引きこもり者への支援 ここ1,2年で8050問題と言われる40代から50代の引きこもりの人への支援が課題が顕在化しているが、当地域にも同じような状況がある。以前引きこもりだった経験者が立ち上げるサロンおよびカフェを支援し、課題にアプローチするきっかけづくりを行う。																	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5.シニア層のセカンドライフへの支援 地域活動の担い手の発掘については、当地域でも同じように大きな課題である。ボランティア活動も以前のような無償ボランティアでは活動を立ち上げたり、継続したりすることも難しくなっている。地域ニーズと活動をマッチさせ、60代の方が地域活動に入りやすい有償ボランティア活動について検討し、提案していく。																	
◆ 事業報告・事業実績評価																			
<input type="checkbox"/> 振り返り																			
<p>新型コロナウイルス感染拡大および感染防止対策が長期化し1年が経過した。令和2年度の重点取り組みの1は、「新型コロナウイルス拡大および防止対策の影響による生活課題の抽出および情報収集」であったが、懸念していたとおり様々な生活課題が浮かび上がっている。一方、コロナ禍による新しい生活様式の中での工夫も見られている。引き続き、市域、区域、担当エリアの情報収集を行い有益で正しい情報について発信することを継続する。以下、行動自粛が長期化した現在の課題について、令和2年度の重点課題をな振り返る。</p> <p>1.新型コロナウイルス拡大および防止対策の影響による生活課題の抽出および情報収集 ①生活上重要な情報の伝達方法についての見直し…コロナ禍の中、情報伝達等のデジタル化が急激に進んだ1年でもあった。担当エリアは高齢者が多い街であるため、地域活動者を含めた住民の方も顔をあわせて話すことの重要性に重きを置く方が多いが、感染拡大を防ぎながらのリアル会議、デジタル化を取り入れた会議など、どちらかに偏ることなく、感染対策を講じながら必要に応じて使い分けることが求められている。 ②介護に関わる種々の問題の増加(介護サービスの不足、介護にまつわる行き場のないストレスの増大等)…令和2年5月25日、一度目の緊急事態宣言解除後から徐々に相談件数が増加し現在も増え続けている。閉じこもりがちな生活の長期化によるフレイル状態や要介護者の増加等を懸念していたが、コロナ2次被害といわれる問題が現れ始めていることが課題になっている。※感染予防対策を行いながら小さな集まりを再開する時期を模索する。</p> <p>2.地域保健福祉活動および地域ケアプラザの活用に関する情報の周知について…活動者が少ない40代、50代の方にアプローチすることを主眼としていたが、活動自粛の中、目立った活動は行えなかった。ただし、コロナが収束した後近隣の公園を使用したフェスタの企画を検討しているグループも立ちあがっている。継続して情報収集に努め活動を通じた新たな地域活動の担い手を支援していく。</p> <p>3.地域課題へのアプローチと地域ニーズに即した社会資源の開発…令和2年度は主だった活動はなかったが、総合相談等の個別ケア、民生委員や専門機関との連携会議および各地域保健福祉計画推進団体等のネットワーク会議から抽出された地域課題について、地域ケア会議等で話し合い協議体を経て社会資源の開発につなげる仕組みを継続する。</p> <p>4.認知症予防および認知症の方、認知症の家族を介護する家族への支援…コロナ禍の閉じこもり生活は、軽度認知障害の方も含め、認知症の方にとっては認知機能の低下を促進してしまう要因となっている。また、介護者である家族も煮詰まった生活の中、心理的・身体的負担の増大から追い詰められた状況がある。</p> <p>令和1年度まで行ってきたサロンおよびカフェの活動も休止しており、その他の行き場も縮小している状況である。一方、感染対策を行いながら、少人数でも集まるグループも出始めている。引き続き、情報収集と共に具体的な支援を模索していく。</p> <p>5.若年層の引きこもり者への支援…当該地域にも40代から50代の引きこもりの人への支援に関わる課題が顕在化し始めた。以前引きこもりだった経験者が立ち上げたサロンおよびカフェを支援し、課題にアプローチするきっかけづくりを継続する。※特に一人暮らしの方についてはコロナ禍により孤立感を深める傾向があるので留意する。</p> <p>6.シニア層のセカンドライフへの支援…地域活動の担い手の発掘については、当地域でも同じように大きな課題である。ボランティア活動も以前のような無償ボランティアでは活動を立ち上げたり、継続したりすることも難しくなっている。地域ニーズと活動をマッチさせ、60代の方が地域活動に入りやすい有償ボランティア活動について検討し、提案していくことを継続する。</p> <p>コロナ禍の中で感じることは、これまでの生活で地域につながりを作ってこられた人は耐える力があり、そうでない人は孤立感を深めるという二極化が進んでいることである。特に対面式の交流に制限がかけられると孤立した人に支援する術がなくなり悪循環に陥る。当たり前のことのようにあるが、今回のような事態においてはその重みが違う。また、毎年のように起こる地震、風水害と防災の重要性を忘れてはならないが、東日本大震災から10年が経過し、防災ボランティアをリードしてきたチームも高齢化が進んでいる。担い手の若返りも含め地域への関心を深める取り組みが求められている。</p>																			
<input type="checkbox"/> 区からのコメント																			
<p>・地域福祉保健計画(地区別計画)の事務局として、会議への出席や連絡調整に取り組んでいただいています。地域の意向を主体としつつも、引き続き、必要に応じて助言等の支援をお願いします。</p> <p>・コロナ禍のなかでも、地域や関係機関とも連携しながら、ICTの活用や見守り活動や関係機関との研修会など取り組んでいただいています。引き続き、地域の身近な相談機関として地域や関係機関と連携しながら、研修や講座を実施し、取組を推進していただくことを期待しています。</p>																			

令和2年度横浜市桂台地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	すべての利用者に対して、公正中立に居宅介護支援事業者およびサービス事業者等の情報提供を行う。具体的には利用者が利用できるサービス一覧表を提示し、自ら選択ができるように促す。	個人情報漏洩防止研修および事故予防、事事故例等の研修をそれぞれ年1回以上行う。 ・法人の取り組みとして、セーフティマネジメント委員会を設置し、活動を行う。
実績	すべての利用者がサービスを利用する際に各サービス一覧表を提示し、利用者やご家族が選択できるよう説明した。	個人情報漏洩防止研修は年2回行った。事故予防研修を年2回行った。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	自宅で生活している要支援高齢者に対して、介護予防を視点におき、居宅において自立した日常生活を営むために介護予防サービスだけでなくインフォーマルサービスが適切に利用できるようにケアプランを作成することを目標にする。	自宅で生活している要介護高齢者に対して、介護予防・認知症・独居高齢者のケアを視点におき、居宅において自立した日常生活を営むために居宅サービスが適切に利用できるようにケアプランを作成することを目標にする。										
職員体制	専任4名(主任介護支援専門員1名、経験のある看護師1名、社会福祉士2名) 兼任1名(経験のある看護師)	介護支援専門員5名(常勤専任3名、兼任2名)										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	260	284	271	273	276	275	104	108	111	115	113	111
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	278	284	296	283	286	296	113	111	110	113	115	113

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護										
目標	介護が必要になっても在宅での生活を継続できるように、自立支援、重度化予防を目的とした通所介護事業を行う。主に口腔ケアの取り組み、機能訓練の実施、認知症の方への個別ケア等を重点的に置く。	在宅での生活をできるだけ長く継続できるように、自立支援、重度化予防を目的とした第1号通所事業を行う。主に口腔ケアの取り組み、機能訓練の実施、認知症の方への個別ケア等を重点的に置く。										
実施体制	【実施日数】 年末年始を除く月曜日から土曜日 【提供時間】 10:00~16:00 【定員】 40名	【実施日数】 年末年始を除く月曜日から土曜日 【提供時間】 10:00~16:00 【定員】 40名										
実費負担	食費 700円	食費 700円										
職員体制	管理者1名 相談員(兼任3名) ケアワーカー(兼任16名うち介護福祉士9名) 看護師(兼任5名)、機能訓練指導員(兼任6名)	管理者1名 相談員(兼任3名) ケアワーカー(兼任16名うち介護福祉士9名) 看護師(兼任5名)、機能訓練指導員(兼任6名)										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	613	617	694	709	687	719	87	85	121	123	117	126
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	685	652	614	573	589	609	133	118	105	103	104	121

令和2年度「桂台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,186,224		20,186,224	20,377,367	△ 191,143	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	0	100,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	△ 1,277,444		△ 1,277,444	△ 2,380,000	1,102,556	施設使用料△2,380,000、法人負担分1,102,556
収入合計	19,008,780	0	19,008,780	17,997,367	1,011,413	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,047,000	0	11,047,000	11,341,015	△ 294,015	
本俸	8,000,000		8,000,000	7,947,490	52,510	
社会保険料	930,000		930,000	898,786	31,214	
手当計	2,000,000		2,000,000	2,319,316	△ 319,316	
健康診断費	7,000		7,000	7,178	△ 178	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	110,000		110,000	168,245	△ 58,245	
その他			0	0	0	
事務費	1,046,780	0	1,046,780	2,047,159	△ 1,000,379	
旅費	5,000		5,000	1,500	3,500	
消耗品費	400,000		400,000	715,364	△ 315,364	
会議賄い費	45,000		45,000	7,776	37,224	
印刷製本費	15,000		15,000	19,477	△ 4,477	
通信費	220,000		220,000	350,494	△ 130,494	
使用料及び賃借料	5,280	0	5,280	2,640	2,640	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,280		5,280	2,640	2,640	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	46,000		46,000	30,312	15,688	
職員等研修費	16,000		16,000	400	15,600	
振込手数料	1,500		1,500	7,679	△ 6,179	
リース料	43,000		43,000	36,696	6,304	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	250,000		250,000	874,821	△ 624,821	
事業費	517,000	0	517,000	184,769	332,231	
運営協議会経費	42,000		42,000	19,363	22,637	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	475,000		475,000	165,406	309,594	
その他			0	0	0	
管理費	4,972,000	0	4,972,000	4,143,433	828,567	
光熱水費	2,800,000		2,800,000	2,070,538	729,462	
清掃費	1,100,000		1,100,000	1,093,751	6,249	
機械警備費	62,000		62,000	61,317	683	
設備保全費	773,000	0	773,000	774,565	△ 1,565	
空調衛生設備保守	370,000		370,000	369,326	674	
消防設備保守	165,000		165,000	169,565	△ 4,565	
電気設備保守	78,000		78,000	77,616	384	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	160,000		160,000	158,058	1,942	
共益費			0		0	
その他	237,000		237,000	143,262	93,738	
修繕費	474,000		474,000	504,231	△ 30,231	予算：指定額
公租公課	952,000	0	952,000	1,134,101	△ 182,101	
事業所税			0		0	
消費税	952,000		952,000	1,134,101	△ 182,101	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,008,780	0	19,008,780	19,354,708	△ 345,928	
差引	0	0	0	△ 1,357,341	1,357,341	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	0	100,000
自主事業費 支出	475,000	0	475,000	165,406	309,594
自主事業 収支	△ 375,000	0	△ 375,000	△ 165,406	△ 603,609

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,280	0	5,280	2,640	2,640	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,280	0	△ 5,280	△ 2,640	△ 2,818	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和2年度「桂台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,156,525		29,156,525	29,181,668	△ 25,143	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	75,000		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	35,180,525	0	35,180,525	35,130,668	49,857	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,540,000	0	31,540,000	31,121,166	418,834	
本俸	17,100,000		17,100,000	17,468,780	△ 368,780	
社会保険料	4,100,000		4,100,000	4,054,030	45,970	
手当計	9,800,000		9,800,000	9,060,609	739,391	
健康診断費	40,000		40,000	36,423	3,577	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	501,324	△ 1,324	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,212,025	0	1,212,025	2,444,435	△ 1,232,410	
旅費	40,000		40,000	13,785	26,215	
消耗品費	356,745		356,745	382,581	△ 25,836	
会議賄い費	50,000		50,000	9,978	40,022	
印刷製本費	15,000		15,000	19,482	△ 4,482	
通信費	250,000		250,000	374,343	△ 124,343	
使用料及び賃借料	5,280	0	5,280	2,640	2,640	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,280		5,280	2,640	2,640	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	80,000		80,000	34,794	45,206	
職員等研修費	70,000		70,000	3,800	66,200	
振込手数料	2,000		2,000	1,867	133	
リース料	43,000		43,000	36,696	6,304	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	300,000		300,000	1,564,469	△ 1,264,469	
事業費	951,000	0	951,000	707,015	243,985	
協力医	504,000		504,000	357,000	147,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	63,000		63,000	41,000	22,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	230,000		230,000	155,015	74,985	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,347,500	0	1,347,500	1,101,410	246,090	
光熱水費	770,000		770,000	550,396	219,604	
清掃費	290,000		290,000	290,743	△ 743	
機械警備費	16,500		16,500	16,299	201	
設備保全費	208,000	0	208,000	205,891	2,109	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	98,173	1,827	
消防設備保守	45,000		45,000	45,073	△ 73	
電気設備保守	20,000		20,000	20,631	△ 631	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	43,000		43,000	42,014	986	
共益費	0		0	0	0	
その他	63,000		63,000	38,081	24,919	
修繕費	130,000		130,000	134,031	△ 4,031	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	35,180,525	0	35,180,525	35,508,057	△ 327,532	
差引	0	0	0	△ 377,389	377,389	

自主事業費 収入	75,000	0	75,000	0	75,000	
自主事業費 支出	447,000	0	447,000	350,015	96,985	
自主事業 収支	△ 372,000	0	△ 372,000	△ 350,015	△ 21,985	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,280	0	5,280	2,640	7,920	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,280	0	△ 5,280	△ 2,640	△ 7,920	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 桂台地域ケアプラザ

2年4月1日～3年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入				4,950	5,182	-232	24,600	23,139	1,461	66,810	60,802	6,008	7,200	5,862	1,338	
	その他	0	0	0	0	0	0	360	333	27	17,787	17,120	667	996	899	97	
	事業・負担金収入			0			0			0		0				0	
	利用者負担分			0			0			0	17,200	15,319	1,881	996	899	97	
	要介護認定調査料			0			0	360	181	179			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
	その他			0			0		152	-152	587	1,801	-1,214				0
	収入合計(A)	0	0	0	4,950	5,182	-232	24,960	23,472	1,488	84,597	77,922	6,675	8,196	6,761	1,435	
支出	人件費			0			0	15,362	18,971	-3,609	58,871	53,907	4,964			0	
	事務費			0			0			0	10,167	7,250	2,917			0	
	事業費			0			0			0	13,632	12,163	1,469			0	
	管理費			0			0			0	7,400	12,331	-4,931			0	
	その他			0	0	0	0	0	0	0	785	0	785	0	0	0	
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0	
	消費税			0			0			0			0			0	
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
	その他			0			0			0	785		785			0	
支出合計(B)	0	0	0	0	0	0	15,362	18,971	-3,609	90,855	85,651	5,204	0	0	0		
収支 (A)-(B)	0	0	0	4,950	5,182	-232	9,598	4,501	5,097	-6,258	-7,729	1,471	8,196	6,761	1,435		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

横浜市桂台地域ケアプラザ ー
令和2年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他</p>
---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	木曜サロン	30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	精神障害者、発達障害者、引きこもりの方など、社会になかなか馴染めない方々の語りの場	2:障害児・者	5	毎週木曜日 自由に集っていただく第1木曜日はカラオケの会を行っている	39	224
2	ふくろうカフェ	23年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	シニア世代に起こりうる課題や不安について、メンバーが率直に語り合い、お互いがこれからの生き方の参考にし交流を深めることを目的とする。また、年に一回は地域住民に向けてシニアライフに役立つ講座を実施する。	5:地域	1	①6/12, 7/10, 8/14	8	131
3	さかえ・グリーン協力隊	28年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	庭木の剪定や草取りなど、高齢者、お一人暮らしの方、障害者の等のお庭の困り事を支援することを目的とする。	1:高齢者	5	庭木の剪定依頼受け作業を行う。4月からコロナの影響で休止。6月からスタートとなる。定例会を月に1回開催。庭木の剪定に関する技術の勉強会も兼ねている。	101	614
4	あおぞら会	29年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域の方を対象に伴侶を亡くした方の思いを共感できる仲間作りを目的とする。	1:高齢者	5	2か月に1回伴侶を亡くした方が思いを共感したり、一人で生活する上での情報を共有する。	5	41
5	消費者トラブルから身を守るために	R2年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	消費者被害や特殊詐欺被害が多い現状があり、被害手口や注意点を地域の方へ周知することで被害を少しでも減らせるようにする。	1:高齢者	5	弁護士の先生の視点から消費者被害等の防止について講義をいただく。その後訪問販売お断りステッカーを配布する。	1	8
6	フレイル予防について	R2年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	フレイルの進行を防ぐ生活習慣のポイントのひとつとして食生活を整えることがある。食事摂取基準の内容を踏まえて低栄養を予防するための食事について講義やレシピの紹介を通じて地域に情報発信する。	1:高齢者	5	地域住民を対象に高齢者に必要な栄養と食事についての講義を行い、レシピの紹介を行う。	1	27
7	介護者教室	28年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	①男性介護者が介護の悩みを一人で抱え混まず介護の体験や情報を意見交換する。②介護予防、介護についての知識を深める。	5:地域	1	①9/18男性介護者でオムツの当て方や選び方を伝える。②11/27下肢静脈瘤の症状と予防法についての講義。	3	37
8	しっかりとした足腰で転倒を予防しよう	R2年	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	包括エリア内で活動しているサロンや体操グループのリーダーを対象に介護予防についての講義を効果的なプログラムを提案する。	5:地域	1	理学療法士を講師に招いてサロンや体操グループのリーダーを対象に講義や実技を行う。	2	44
9	ケアマネジャー勉強会	18年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーが通院から在宅医療への移行と医療との連携について学ぶ	6:事業者		通院から在宅医療への移行について医師による講義と事例紹介	1	20
10	桂台健康講座	30年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	テーマを聞けて介護予防や健康に関する講座を開催し地域住民の健康の維持・増進を図る。	5:地域	1	9/26協力医を講師に招いて新型コロナウイルスとインフルエンザについての講義。10/21補聴器相談員を講師に招いて難聴と認知症についての講義。10/28理学療法士を講師に招いて自宅でもできる運動についての講義。	5	93
11	ボランティアグループネット	23年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアグループネットのメンバーが自らの知識を高め、それぞれのボランティア活動やグループ反映できることを目指す。主にグループメンバーに必要な研修を話し合い実施する	5:地域	1	コロナの影響により、4月から休止。7月から再開となる。包括と共催で研修会を企画している。毎月1回 第四金曜日 開催 7/31、8/28、9/25、10/23、11/27、	6	95
12	NFの会	26年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の家族、専門家、地域住民などが集い、意見交換、情報交換をする事を目的とする。	5:地域	1	認知症の家族の居場所として談話をするコロナの影響で7月までは休み。 ①8/19 ②9/16	5	28
13	桂台カフェ	27年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症本人とその家族、地域の方の交流の場所となる認知症カフェとして月に1回開催している。専門職(包括・デイ)が加わり認知症の理解促進のために貢献している。家族会では意見交換を行い、介護の悩みや問題点を啓発する事を目的とする。	5:地域	1	認知症カフェとして月1回開催していたが、コロナ禍の為「家族会」として月に2回に分け参加となる。 ①8/5 ②8/31 ②9/2 ④9/28	7	61

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催 (1と2)	5: 共催 (1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催 (2と3)	7: 共催 (1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	スリーアスマイルの会	24年	5: 共催 (1と3)	1: 優先的に取り組み	「明るく、あたまを使って、あきらめない」をモットーに体操や歌などを取り入れたプログラムを行い、認知症予防を地域住民主体で取り組むことを目的とする。	5: 地域	1	月2回第2、4水曜日に開催。コロナの影響によりプログラム内容を変更し、脳トレを中心に実施。7/8.22 8/12.26 9/9.23 10/14.28 11/11.25 12/9.23	12	220
15	桂台菊講座	30年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	栄区の区花である菊の育て方の講習会を行う。	1: 高齢者		テイスサービスの利用者が菊の育て方を習う講座。今年はコロナの影響により講習の参加は出来なかったが、手入れの様子を知らせた。	3	10
16	福祉教育	29年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の小学校、中学校の先生児童生徒に対象、ケアプラザの機能の紹介や高齢者、認知症の理解、地域について考える事業を行なう	4: 子ども・青少年		桂台中学校 1年生対象「コロナ禍において地域に私たちができること」地域向けアンケートを収集する。公田小学校 先生対象人権教育 共生社会とは 9/3	3	130
17	子育てサポートシステム	30年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	桂台地区の子育てをしている世代で子どもを預けたり、預かったりする仕組みを広めるための説明会	7: その他	5	子育て世帯をサポートための仕組みづくり	1	3
18	自炊カアップ事業	元年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	引きこもりな方たちが、将来自立するために自炊を経験してみる	2: 障害児・者	4	木ようサロンの方と区役所との共催事業。8/27は防災をテーマに防災食をおこなった。12/26 カソカレー	2	17
19	調理室清掃	30年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	調理室使用団体と一緒に清掃をし、備品の管理や調理室の使い方について共有する。また、他の団体との交流をし、活動の方法について参考になることを共有する	5: 地域	1	11/22,11/23 7団体の参加が有、コロナ下の特に食事を伴う活動についての意見交換を行った。	2	22
20	ボランティア茶話会	R2年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	特にデイに来ていたボランティアさん対象に活動できていないので、フレイルに関する様子伺いと、今後のプログラムについての相談を行う	5: 地域	1	11/24,25,30, 1/22 主にデイボランティア対象に行う。現在の生活についての聞き取りとプログラム再開についての相談会	3	33
21	祝日友の会	R2年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	主に精神障害の方々を対象に表現を通して自分に自信をもつことを目標とする	2: 障害児・者	5	11/1、12/12、1/9 詩や本を声を出して読み、音楽を付けて朗読劇のような形に仕上げていく	5	38
22	げんき食堂	29年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	子どもが孤立しない仕組みづくりのために、ボランティアが中心になり、温かい食事と居場所の提供をしている	4: 子ども・青少年	5	12/8 クリスマス会	1	38
23	コロナ禍における消防署の活動について	R2年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	上西地区における防災啓発活動の一環で行う	5: 地域	1	11/19 上西地区の自治会役員、防災担当者向け 講師 栄消防署上郷出張所 田代所長の講演会	1	33
24	買い物支援事業(日常生活のお困り事を相談できるところリスト)	H31年	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	H31年3月からスタートした買い物支援であるが新型コロナウイルス感染症防止の為令和2年3月から休止となっている。その後の対応として「日常生活を相談できるリスト」を各自治会ごとに作成し民生委員を通して困った時の連絡先をリスト化して配布。	1: 高齢者	5	自治会ごとのリストを作成	4	12
25	移動販売事業(ローソン)	令和2年	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢化に伴い買い物に行けない方への支援として移動販売を開催している。湘南ハイツと公田ハイツの2か所となる	1: 高齢者	5	毎週火曜日、湘南ハイツ内のクロスハート 栄・横浜の施設内駐車場にて施設関係者と地域向けに販売を行っている。その後 公田ハイツの集合住宅向けに販売。	24	554
26	音楽療法	H29年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の方を対象に音楽を通じて介護予防や認知症予防を行う。	1: 高齢者		10/13公田町団地のサロンの時間を利用して介護予防教室を開催。	1	15
27	民生委員とのケアマネジャー・多職種との懇談会	H18年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	本郷中央地区の民生委員と地域のケアマネジャーと顔の見える関係づくりの場を作る。	5: 地域		10/20情報交換会を通じてお互いの活動内容や支援に対する考え方を共有できる時間をつくる。	1	35
28	口腔機能講座	H18年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の方を対象に嚥下機能の維持や口腔ケアの必要性について普及啓発を行う。	5: 地域		10/29嚥下機能の維持の方法や口腔ケアについての講義や指導。	2	26
29	備えてあんしん終活講座	R2年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域のシニア世代に向けて「介護・後見・相続」に関する法律制度の情報提供・個別相談を行う。	5: 地域		10/16,12/5遺言書の保管制度や贈与・遺産相続等相続に関する民法の改正点の講義。11/17,20エンディングノートの活用方法。	4	87

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	多職種勉強会	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	①栄区在宅医療相談室と主任ケアマネジャー分科会と共催で医療機器について学び知識を共有する。②ケアマネジャーと精神科病院との連携について学ぶ。	6:事業者		10/29福祉、医療従事者が医療機器について知識を共有する。11/26栄聖仁会病院のMSWと事務長を講師に精神科病院の内容と連携についての講義。	2	40
31	薬剤師との懇談会	H29年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	桂台ケアプラザの担当薬局の薬剤師と定期的にテーマを決めて話し合う。	6:事業者		10/19新型コロナウイルスの感染予防対策や日常の業務での情報交換。	1	13
32	虐待防止出前講座	H30年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者施設や地域の民生委員を対象に虐待の防止や早期支援のため啓発活動を行う。	5:地域		11/28地域の民生委員を対象に虐待防止の出前講座を行う。	1	17
33	シニア健康づくり教室	H18年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	桂台・公田町に住んでいる方を対象に身近な場所で体を動かしていただき介護予防の普及啓発を図る。	5:地域		11/6.20.30桂台団地集会場で横浜市体育協会の講師を招いてストレッチやコグニサイズを行った。	6	43
34	アウトリーチパートナー研修	R3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	生活困窮者自立支援の仕組みと主に精神疾患のある方への対応を目的とした講座。本郷中央地区、上郷西地区の新任民生委員対象に行った。ZOOMも併用し密にならない工夫をした。	5:地域		2/23 精神障がい者に対する対応を研修する。コロナ禍で生活困窮に陥る方も身近になりつつあるので、どのような対応と区役所の制度を知ってもらう。	1	24
35	栄区石塔、石仏講演会	R3年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	栄区に多数ある石塔石仏の調査をもとにマップを作成した。調査結果の報告会を行った。	5:地域		3/27 地域の歴史研究をされている方の講演会。	1	24